

【第1刷をお持ちの方】

「獣医微生物学 第4版」正誤表

	誤	正
68頁 左段 下から19行目	フェリン、ヘモグロビンなどの鉄結合蛋白質（シデロフォア siderophore）との複合体であり、	フェリン、ヘモグロビンなどの鉄結合蛋白質との複合体であり、
68頁 左段 下から14行目	鉄結合蛋白質を分泌し、鉄-シデロフォア結合体	鉄結合蛋白質（シデロフォア siderophore）を分泌し、鉄-シデロフォア結合体
80頁 右段 下から6行目	80%、イソプロパノールでは30～50%の至適	80%、イソプロパノールでは50～70%の至適
112頁 右段 下から12行目	性結核菌）、 <i>Y. enterocolitica</i> （エルシニア腸炎）の	性結核菌）、 <i>Y. enterocolitica</i> （腸炎エルシニア）の
113頁 表8-3「仮性結核」の「病原体」の項	<i>Y. enterocolitica</i>	<i>Y. pseudotuberculosis</i>
116頁 左段 下から8行目	至適培養温度は37℃で、普通寒天培地やTSA培地などの一般培地でよく発育し、	普通寒天培地やTSA培地などの一般培地でよく発育し、
122頁 左段「(1)分類」の1行目	パストツレラ <i>Pasteurella</i> 属、マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および	マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および
123頁 右段 上から10行目	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin
155頁 表8-23「病原体」の項、下から2段目	<i>Plebotella</i> sp.	<i>Prevotella</i> sp.
294頁 左段 下から1行目	肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら	やC型肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら
466頁 右段 上から1行目	属、ナニチア <i>Nanizzia</i> 属、トリコフィトン	属、ナニチア <i>Nannizzia</i> 属、トリコフィトン
467頁 表14-2「皮膚糸状菌症（人獣）」の「主要原因菌」1行目	<i>Microsporum canis</i> , <i>Nannizzia gypsea</i> ,	<i>Microsporum canis</i> , <i>Nannizzia gypsea</i> ,
467頁 表14-2「スポロトリクス症（人獣）」の「主要原因菌」2行目	<i>S. schenckii sensu stricto</i>	<i>S. schenckii sensu stricto</i>
467頁 右段 下から3行目	70%が <i>Microsporum canis</i> で、 <i>Nannizzia gypsea</i>	70%が <i>Microsporum canis</i> で、 <i>Nannizzia gypsea</i>
468頁 左段 上から6行目	への感染源となる。その他 <i>Nannizzia gypsea</i> ,	への感染源となる。その他 <i>Nannizzia gypsea</i> ,
468頁 右段 上から1行目	(2) <i>Nannizzia gypsea</i> および <i>N. incurvata</i>	(2) <i>Nannizzia gypsea</i> および <i>N. incurvata</i>
468頁 図14-9 キャプション	<i>Nannizzia gypsea</i> の集落	<i>Nannizzia gypsea</i> の集落
469頁 図14-10 キャプション	<i>Nannizzia gypsea</i> の大分生子	<i>Nannizzia gypsea</i> の大分生子
469頁 左段 上から3行目	関係の深い土壌中から効率に分離される。	関係の深い土壌中から高率に分離される。
474頁 右段 上から9行目	<i>brasiliensis</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,	<i>brasiliensis</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,
474頁 右段 上から12行目	<i>globosa</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,	<i>globosa</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,
474頁 右段 下から11行目	原性が認められる。スポロトリクスは二形成菌	原性が認められる。スポロトリクスは二形性菌
474頁 右段 下から6行目	スポロトリクスは、世界各地の温暖～熱帯に	スポロトリクスは、世界各地の温帯～熱帯に
475頁 左段 上から14行目	<i>sensu stricto</i> で、ブラジルと同様に	<i>sensu stricto</i> で、ブラジルと同様に

【第2刷をお持ちの方】

「獣医微生物学 第4版」正誤表

	誤	正
116頁 左段 下から8行目	至適培養温度は37℃で、普通寒天培地やTSA培地などの一般培地でよく発育し、	普通寒天培地やTSA培地などの一般培地でよく発育し、
122頁 左段「(1)分類」の1行目	パストツレラ <i>Pasteurella</i> 属、マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および	マンヘイミア <i>Mannheimia</i> 属および
123頁 右段 上から10行目	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin	ある易熱性の皮膚壊死毒素 dermonecrotic toxin
142頁 左段 下から15行目	スピリルム <i>Spirillum</i> 属は、	スピリルム <i>Spirillum</i> 属は、
294頁 左段 下から1行目	肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら	やC型肝炎ウイルスに関する生化学的な知見が多く得ら